

## 資料・統計

## 2008年悪性疾患入院患者統計

## Statistics of Inpatients with Malignancy in 2008

新潟県立がんセンター新潟病院

情報調査部 病歴室

2008年の悪性疾患入院患者統計について報告する。当院では2008年4月より電子カルテシステムが導入され、それに伴って従来紙伝票で提出していたMN登録票は、退院サマリーとともに電子カルテの一部として入力する運用が始まった。

## 悪性疾患入院患者の基礎資料 (表1)

2008年の悪性疾患登録患者数は2,714人(前年比-97)で、重複がんもしくは既登録での新規発生を含めた悪性疾患登録疾患数は2,838(前年比-80)であった。悪性疾患入院患者実数4,115(前年比-61)、延数9,405(前年比-101)も併せて、過去最多であった2007年よりもわずかに減少の傾向がみられた。

## 悪性新生物疾患別数の推移 (表2)

表2の「入院患者実数」は2008年だけでなく前年以前に登録された悪性疾患入院患者も含み、「入院患者延数」は複数回の入院を含めた延数を示す。2008年の「新規悪性登録数」をみると、肺がん(448, 前年比+42)、胃がん(428, 前年比-60)、乳がん(318, 前年比-18)、前立腺がん(187, 前年比-49)、結腸がん(185, 前年比-3)の順に上位5がん腫を占め、前年とは1位と2位が入れ替わる形となった。肺がんと乳がんについては入院患者延べ数が他のがん腫に比べて突出しており、長期に渡って化学療剤が繰り返し行われている状況を示す。

## 全入院患者に占める悪性疾患患者の割合

(表3, 4)

入院患者に占める悪性疾患患者の割合は、実数ベースでは69.18%(前年比+0.7)、延数ベースでは83.13%(前年比+0.58)といずれも微増し、割合の数字としては過去最高であった。延数でみた方が割合が高いのは、悪性疾患患者は良性疾患に比べて複数回の入院を要することを反映している。全国のがんセンター群の中では総合病院的な性格が強かった当院ではあるが、長期的にみれば悪性疾患割合は徐々に上昇を続けている。医師不足のために外来を紹介患者に制限せざるを得ない診療科が増えてきている現状をみると、入院患者の悪性疾患への特化傾

向は今後も続くものと予想される。

## 診療科別入院患者悪性疾患割合 (表5)

診療科別にみた入院患者の悪性疾患割合は、従来とほぼ同様の傾向であった。悪性疾患による死亡退院数は477人で前年比+13人であった。医療政策として国が推進している在宅での末期医療がどの程度浸透していくかは、今後の推移を見守る必要がある。

## 病類別在院日数 (表6)

悪性疾患の平均在院日数は14.5日で全入院の平均14.2日よりわずかに長く、前年までとほぼ同様の数字であった。当院は2009年4月よりDPC対象病院となったため、来年度の本報告からは疾患毎の在院日数についてもかなりの変動が予想される。

## 予後調査 (図)

2007年までの47年間に当院でがん登録された54,227名のうち、登録後20年未満の患者は35,783名であった。そのうち既に病歴室もしくは新潟県がん登録で死亡が確認されている患者を除き、1年以上来院歴がない登録患者4,381名に対し、郵送による直接照会を行った。回答数は3,452通(78.8%)で、昨年の調査での60.9%の回答率を大きく上回った。未回答および消息不明患者884名に対しては法務局の許可を得て本籍地の市町村へ戸籍照会をかけたが、該当なしとの回答や結局外国籍であったなどの理由で、55件が照会不能であった。

## 院内がん登録の課題

本邦におけるがん登録システムには施設単位で行う院内がん登録、県単位で行う地域がん登録、学会単位で行う臓器別がん登録の3種類があり、それぞれに位置付けや役割が異なる。院内がん登録は当該施設でがんの診断・治療を受けた全患者についての情報を集約するシステムであり、それは罹患率の算出が可能な地域がん登録の基盤ともなる。全国のがん診療連携拠点病院においては、院内がん登録のデータを国立がんセンターのがん対策情報センターへ提出することが義務付けられている。当院の院内がん登録は病歴室担当者の努力もあり、毎年100%

近い予後把握率を維持しているが、今後の課題としては外来患者のがん登録が挙げられる。外来で診断・治療を行ったがん患者については2006年からMN登録票の受け入れを行い、2008年分からデータ処理をしている。しかし、現状では外来がん患者については担当医の自発的な登録に頼らざるを得ず、診療科

や医師によって登録態度に相当の開きがある。DPCの導入や人口高齢化などの社会環境の変化に伴って、外来のみで治療を行うがん患者は今後も増え続けることが予想される。外来がん登録の精度をいかに高めていくかは、これからの大きな課題である。

表1 2008年悪性疾患入(退)院患者統計

2008年の悪性疾患入院患者の基礎資料

1. 2008年悪性疾患登録患者数(実数)..... 2,714
2. 2008年の悪性疾患登録疾患数..... 2,838
  - 内訳：本年初登録で単疾患 2,378例, 2,378疾患
  - 本年初登録で複数疾患 105例, 217疾患
  - 既登録で本年初発疾患 231例, 243疾患
3. 2008年の悪性疾患入院患者実数..... 4,115  
    '07年以前の登録患者も含む
4. 2008年の入院加療悪性疾患患者延数..... 9,405  
    同一年の再入院も含む
5. 2008年の総入院患者実数..... 5,552
6. 2008年の総入院患者延数..... 11,314

表2 悪性新生物疾患別数の推移(実数)

部位等 (ICD10)	2006年		2007年					2008年				
	入院患者実数	新規登録数	入院患者実数	男	女	入院患者延数	新規登録数	入院患者実数	男	女	入院患者延数	新規登録数
口唇、口腔および咽頭の悪性新生物 (C00～C14)	62	47	56	43	13	76	42	63	45	18	94	55
食道の悪性新生物 (C15)	177	127	183	162	21	423	113	188	161	27	452	120
胃の悪性新生物 (C16)	572	473	579	384	195	843	488	526	354	172	803	428
小腸の悪性新生物 (C17)	7	8	15	11	4	28	10	8	6	2	13	7
結腸の悪性新生物 (C18)	257	209	243	141	102	481	188	240	138	102	478	185
直腸、直腸S状結腸移行部および肛門の悪性新生物 (C19～C21)	144	115	149	98	51	272	113	131	88	43	273	98
肝および肝内胆管の悪性新生物 (C22)	71	47	75	58	17	130	37	91	64	27	177	63
胆嚢および肝外胆管の悪性新生物 (C23,C24)	32	22	38	23	15	107	31	51	35	16	95	42
膵の悪性新生物 (C25)	88	60	76	50	26	127	53	75	44	31	129	53
その他消化器および腹膜の悪性新生物 (C26,C48,C45.1)	7	6	7	4	3	14	1	9	4	5	13	3
喉頭の悪性新生物 (C32)	44	34	36	33	3	45	25	40	37	3	51	25
気管、気管支および肺の悪性新生物 (C33,C34)	636	405	626	432	194	1,227	406	654	445	209	1,303	448
その他呼吸系および胸腔内臓器の悪性新生物 (C30,C31,C37～C39,C45.0,C45.2)	16	11	18	9	9	33	17	26	15	11	51	17
骨および関節軟骨の悪性新生物 (C40,C41)	18	9	17	9	8	25	12	8	6	2	11	6
皮膚の悪性新生物 (C43,C44,C46)	75	62	77	40	37	90	68	82	35	47	88	73
乳房の悪性新生物 (C50)	536	327	538	1	537	2,374	336	513	0	513	2,182	318
結合組織およびその他の軟部組織の悪性新生物 (C47,C49)	28	21	33	20	13	72	19	36	19	17	64	21
子宮頸の悪性新生物 (C53)	90	66	95	0	95	288	54	97	0	97	244	57
その他子宮の悪性新生物 (C54,C55)	95	70	93	0	93	278	62	72	0	72	195	49
その他女性生殖器の悪性新生物 (C51,C52,C56～C58)	88	44	94	0	94	387	47	115	0	115	461	64
前立腺の悪性新生物 (C61)	217	193	268	268	0	314	236	238	238	0	332	187
膀胱の悪性新生物 (C67)	185	110	184	156	28	292	112	190	149	41	302	96
腎および腎盂の悪性新生物 (C64,C65)	80	54	92	67	25	156	66	105	76	29	173	69
その他の泌尿生殖器の悪性新生物 (C60,C62,C63,C66,C68)	52	37	54	43	11	105	36	43	35	8	71	24
脳の悪性新生物 (C71)	6	5	9	5	4	12	9	5	1	4	6	5
その他および部位不明の悪性新生物 (C69,C70,C72～C80)	135	99	138	53	85	224	90	118	54	64	226	81
再掲 [甲状腺 (C73)]	86	67	88	24	64	101	56	78	29	49	95	52
白血病 (C91～C95)	101	42	105	63	42	357	49	103	67	36	317	52
その他のリンパ組織および造血組織の悪性新生物 (C81～C85,C88,C90,C96)	168	100	192	104	88	637	112	198	106	92	709	105
上皮内癌 (D00～D09)	94	92	86	3	83	89	86	90	3	87	92	87
計	4,081	2,895	4,176	2,280	1,896	9,506	2,918	4,115	2,225	1,890	9,405	2,838

\* 入院患者実数：その年までに悪性疾患登録された入院患者の実数  
 \* 入院患者延数：その年までに悪性疾患登録された入院患者の延数  
 \* 新規悪性登録数：その年に悪性疾患新規登録された疾患数

表3 悪性疾患入院患者実数の年間推移 (実数および比率)

	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
悪性疾患入院患者実数	3,561	3,923	3,918	4,081	4,176	4,115
%	62.30	66.30	66.47	68.30	68.48	69.18
疾患別患者実数	5,716	5,917	5,894	5,975	6,098	5,948

表4 悪性疾患入院患者延数の年間推移 (延数および比率)

	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
悪性疾患入院患者延数	8,293	9,445	9,124	9,417	9,506	9,405
%	78.28	81.56	81.34	82.51	82.55	83.13
疾患別患者延数	10,594	11,581	11,217	11,413	11,515	11,314

表5 診療科別入院患者悪性疾患割合 (延べ数,重複あり,死亡・剖検は実数)

診療科	悪性疾患患者数 (%)	入院患者数	死亡数		剖検数	
			悪性	総数	悪性	総数
内科	2,487 (83.3)	2,986	229	252	14	14
神経内科	0 (0.0)	24	0	1	0	0
小児科	270 (85.4)	316	6	7	6	7
耳鼻咽喉科	202 (83.8)	241	12	12	0	0
外科	3,624 (93.5)	3,875	141	145	1	1
呼吸器外科	430 (94.7)	454	17	18	1	1
整形外科	100 (27.2)	367	7	7	0	0
心臓血管外科	0 (-)	0	0	0	0	0
脳神経外科	151 (72.6)	208	11	18	0	0
麻酔科	0 (-)	0	0	0	0	0
眼科	1 (0.9)	114	0	0	0	0
皮膚科	101 (78.9)	128	0	0	0	0
泌尿器科	805 (73.7)	1,092	31	33	1	1
婦人科	976 (78.4)	1,245	19	20	0	0
放射線科	258 (97.7)	264	4	4	0	0
合計	9,405 (83.1)	11,314	477	517	23	24

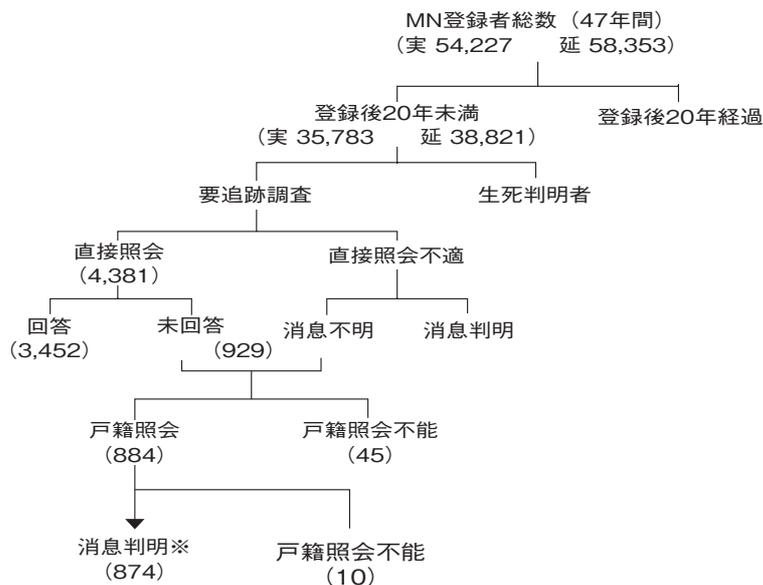


図1 2007年の追跡結果

表6 2008年病類別（大分類）在院日数別患者数

疾病大分類	在院日数	計	1～7日	～14日	～30日	～90日	～180日	～181日 以上	平均在院 日数
合計		11,314	5,033	2,786	2,275	1,112	102	6	14.2 (160,586)
I 感染症および寄生虫症		45	12	16	17	0	0	0	10.7 (481)
II 新 生 物		9,748	4,272	2,383	1,994	1,000	94	5	14.5 (141,362)
III 血液および造血管の疾患ならびに 免疫機構の障害		31	21	2	4	3	1	0	13.5 (419)
IV 内分泌, 栄養および代謝疾患		35	10	13	12	0	0	0	11.7 (409)
V 精神および行動の障害		5	2	1	2	0	0	0	12.0 (60)
VI 神 経 系 の 疾 患		32	8	11	9	3	1	0	18.3 (586)
VII 眼および付属器の疾患		112	56	54	2	0	0	0	6.7 (745)
VIII 耳および乳様突起の疾患		4	2	1	1	0	0	0	8.0 (32)
IX 循 環 器 系 の 疾 患		199	92	48	40	18	1	0	13.3 (2,639)
X 呼 吸 器 系 の 疾 患		144	33	46	46	16	2	1	21.8 (3,140)
XI 消 化 器 系 の 疾 患		270	105	98	50	16	1	0	12.3 (3,329)
XII 皮膚および皮下組織の疾患		29	8	9	10	1	1	0	18.2 (527)
XIII 筋骨格系および結合組織の疾患		98	12	17	40	29	0	0	26.2 (2,567)
XIV 尿 路 性 器 系 の 疾 患		405	331	55	14	4	1	0	5.1 (2,072)
XV 妊娠, 分娩および産じょく〈褥〉		2	2	0	0	0	0	0	4.0 (8)
XVI 周産期に発生した病態		0	0	0	0	0	0	0	0.0 (0)
XVII 先天奇形, 変形および染色体異常		4	3	1	0	0	0	0	4.8 (19)
XVIII 症状, 徴候および異常臨床所見・異常 検査所見で他に分類されないもの		33	19	9	5	0	0	0	8.4 (278)
XIX 損傷, 中毒およびその他の外因の影響		100	28	22	28	22	0	0	18.5 (1,853)
XX 傷病および死亡の外因		0	0	0	0	0	0	0	0.0 (0)
XXI 健康状態に影響をおよぼす要因 および保健サービスの利用		18	17	0	1	0	0	0	5.6 (101)
XXII 特殊目的用コード		0	0	0	0	0	0	0	0.0 (0)

( ) 延日数

良性平均在院日数 12.4 (総日数 23,746)

悪性平均在院日数 14.5 (総日数 136,840)

$$\text{平均在院日数} = \frac{\text{退院患者の入院延日数}}{\text{退院患者延数}}$$